



ろうさいだより

2019年冬号

新年のご挨拶

院長 大野 耕策

新年あけましておめでとうございます。今年（平成31年）の4月で天皇陛下が譲位され、新天皇が即位されます。新天皇の即位の日である5月1日をこの年限りの祝日とすることが安倍晋三首相によって示されました。この結果、祝日に囲まれた4月30日も5月2日も国民の休日となり、10連休になることが決まりましたが、山陰労災病院では、4月30日（火曜日）、5月1日（水曜日）、5月2日（木曜日）は通常どおり診療を行うことにしていますのでご利用ください。

平成時代、山陰労災病院は30周年、40周年、50周年を迎えながら発展してきました。平成時代には新棟建築が出来ませんでした。平成の最後の年と新しい元号の下で新棟の建築が始まり、山陰労災病院も新たな装いになります。新しい装いになっても、最新の高い医療技術を維持し、安心、安全な医療を提供し続けます。皆さんに信頼され、頼られる病院であることが、山陰労災病院で働く私たちの働き甲斐、誇りでもあります。

新しい元号となって6年後には、団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となり、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、人類が経験したことのない高齢化社会を迎えます。平成29年の日本の医療費は42兆円でしたが、そのころには54兆円になると予測されています。このように増加していく医療費を抑制するために、急性期病院に入院する期間をできるだけ短くして、1日も早く地域や自宅に退院出来るようにする制度に変わりつつあります。

入院期間が短くなっても、安心して退院後の生活を送ることが出来るように、当院では総合支援センターを設け、前方支援（医療連携、地域連携の推進）と後方支援（入退院支援および医療相談）を充実させ、地域の医療機関・介護施設等との連携を深め、患者さんやその家族にとって最良の入退院支援と退院調整となるように努めております。新しい元号の下でも、皆さんが住み慣れた地域で健康的な生活が送れるように、支援して行きたいと思います。



インフルエンザの感染を防ぐために

副院長（呼吸器・感染症内科部長） 福谷 幸二

インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染しておこる感染症です。感染を拡大させないためには、自身がインフルエンザにかからないこと、周囲にうつさないことを心掛けて対策をとることが最も大切です。

インフルエンザウイルスの感染経路は、感染している人の咳・くしゃみにより放出されたウイルスを含んだ飛沫を吸い込むことで感染する飛沫感染と、感染した人の手が触ったつり革やドアノブなどに触り、その手で鼻や口に触って感染する接触感染があります。インフルエンザを予防するためには、こうした感染経路を断つことが重要です。



～ インフルエンザ予防のポイント ～

●手洗い

外出からの帰宅時には流水・石鹸による手洗いをしてください。アルコール製剤で手を消毒するのも効果的です。

●咳エチケットとしてのマスク着用

インフルエンザを他の人に感染させないために、くしゃみや咳が出ている間はマスクを着用し、使用後のマスクは放置せず、ごみ箱に捨ててください。マスクは鼻と口の両方を確実に覆い、正しい方法で着用してください。

●予防接種

インフルエンザワクチンは、発症を防ぐ効果がある程度認められていますが、麻疹ワクチンのような高い予防効果を期待することは出来ません。インフルエンザワクチンの最も大きな効果は入院治療が必要となったり、死亡したりするといった重症化の予防を期待出来ることです。



インフルエンザの感染予防のための対策を簡単に述べましたが、インフルエンザの流行を防ぐために重要なのは、抗インフルエンザ薬を飲むことではありません。自身と周囲への感染を防ぐ対策をしっかりとることが最も基本的で大切です。どうか、インフルエンザの流行期を無事に乗り切ってください。

市民公開講座を開催

副院長（外科部長） 野坂 仁愛

2018年10月13日、米子市文化ホールで「胃がん・大腸がんの治療と看護」をテーマとして市民公開講座を開催しました。当院では、20年以上にわたり月に一度、「健康講話」を開催し好評を博してきており、講師は医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、管理栄養士、理学療法士をはじめとする患者さんの治療に携わるすべての職種から、当院で行っている治療、看護、検査等について講演しておりました。ただ、今までは院内という限られた環境であったため、今回は、折角の内容を是非多くの方にお伝えしたいとの思いで、院外での開催としました。

内容は、当院の発足当時から伝統的に主要部門である消化器内科、消化器外科、病理診断科の医師及びがん化学療法専門看護師を講師とし、消化器疾患にフォーカスをあて、「胃がん・大腸がんの治療と看護」をテーマとしました。

初めての試みであったため、数ヶ月前から、当院広報担当部門を中心に、当院ホームページや市報、院内掲示等で広告を行いました。その甲斐もあって当日は会場のほとんどが埋まるほどの盛況で、多くのご質問もいただきました。今後は循環器科医、心臓血管外科医と心臓リハビリの組み合わせや脳神経内科医、脳神経外科医とリハビリテーション科の組み合わせで当院が得意とする分野（循環器分野・脳卒中分野）の治療内容、看護内容を多くの市民の方にお伝えさせていただく予定です。多くの方に山陰労災病院を利用いただけるよう、この市民公開講座を定期的に開催するべく企画しております。

今後数年間の工期を経て、病院が一新されます。是非多くの方々のご利用をお待ちしております。





がん患者会「和みサロン」 第10回クリスマスコンサート



図書係 栞谷 加奈

去る12月8日、毎年恒例の「和みサロン」クリスマスコンサートが開催されました。今年は記念すべき10回目ということで、例年よりもたくさんの歌を聞いていただこうと、患者会のメンバーは8月末から練習を重ね、プレゼントも少し多めに準備しました。

このコンサートは、お茶席の運営や会場の設営、入院患者さんのご案内などに院内外の多くのボランティアメンバーの協力を得て成り立っています。また、たくさんのサポートメンバーの方が出演していただきます。今年も「ジングルベル」の合唱の中、サンタ・トナカイ・妖精・ピカチュウ（全員 当院の若手医師）が、観客の皆さんにプレゼントを配って回りました。ストリートダンスの経験者であるサンタのダンスも披露され、文字通りの「ダンシングサンタ」の登場に会場は大いに盛り上がりました。1回目からお世話になっている「はまやんバンド」の演奏、患者会メンバーのハーモニカ演奏、詩吟と詩舞の発表、オープニングでプレゼントを配った医師たちによるヴァイオリン・ヴィオラ・ピアノのクラシック3重奏と盛りだくさんの内容が続きました。

今回は特別に、参加できなかった患者会メンバーからの手紙の紹介もありました。「生きる希望を持てたのも、Hさん（患者会の先輩メンバー）の体験談を聞いたその日からです。」という言葉から、「似たような境遇であればわかち合えることがある。がんという同じ体験をした方同士だからこそ話せることもある。」という「和みサロン」の理念が具現化していると感じることができました。

最後は、患者会メンバーの合唱。特に「ビリーヴ」（♪たとえば君が傷ついて～）は、メンバーみんなが大好きな曲で、練習の時も、これだけは2回歌っていました。「上手に歌えなくても、顔を上げて大きな声を出して笑顔で歌う。」という目標はしっかり達成できました。一緒に口ずさんでくださる観客の方もおられ、うれしい限り。1年後、11回目のコンサートに向けてがんばろうというメンバーの励みになりました。

がん患者会「和みサロン」は毎週水曜日午後2時～4時、当院2階皮膚科となりの部屋で開催しております。事前の予約や連絡などは必要ありません。患者の方、ご家族の方、どうぞお気軽にご参加ください。



山陰労災病院健康講話

2月(251回)

無料・予約不要

演 題：抗がん剤治療のお話

講 師：原田 由美

(がん化学療法看護認定看護師)

日 時：2月13日(水) 午後2時～3時30分

場 所：山陰労災病院3階会議室

3月の予定：山本真理絵(腎臓内科)

4月の予定：未定



予定は変更
になる場合が
あります。
ご確認下さい。

がん治療の1つに「抗がん剤治療」があります。抗がん剤治療を受けると強い副作用が出るというイメージがあると思います。

実際にはどんな副作用があるのか、それに対する対処方法はどうすればよいか、また「標準治療とは?」「外来治療室ってどんなところ?」「免疫療法って?」など抗がん剤治療のよく質問される内容についてお話しします。



人間ドック後の お食事が変わりました

10月1日から人間ドック後のお食事が大幅リニューアルしました。これまではお弁当をお渡ししていましたが、現在、以下の4施設でお食事を提供しています。施設によっては温泉も楽しめます。

お食事券の有効期限は7日間(受診日含む)、土日・祝日も使用可能です。

ぜひ、リニューアルした人間ドックをご利用ください。ご予約・お問い合わせは医事課ドック係(内線2101番)までどうぞ。

夢寛歩



幕の内弁当+温泉
11:00～14:00

お刺身、天ぷら、小鉢
茶碗蒸し、お吸い物

東光園



ランチビュッフェ+温泉
11:30～14:00(最終入場13:15迄)

火曜定休
※水曜はランチのみ

レング屋



洋食ランチ
11:00～15:00

コーヒー・デザート付
※アレルギー食対応可

病院売店



800円金券
8:00～18:00

※おつりは出ません

お知らせ

当院では、2019年ゴールデンウィーク期間中の

4月30日(火)・5月1日(水)・5月2日(木)を**通常診療日**といたします。

●今号の「かんたん健康レシピ」はお休みさせていただきます。

ボランティア募集

山陰労災病院では病院ボランティアを募集しております。
興味のある方は山陰労災病院総務課までご連絡ください。

活動時間帯：平日午前(週1～2回程度) 活動内容：インフォメーション業務等

●2019年1月発行 ●ご意見等ございましたらお気軽にお問い合わせください E-mail:toiawase@saninh.johas.go.jp

問い合わせ先：山陰労災病院総務課

〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田1丁目8番1号

TEL 0859-33-8181 FAX 0859-22-9651

ホームページ

さんいんろうさい

検索